

BASEBALL COLUMN

ベースボールコラム

特別連載

vol.34

公益財団法人
野球殿堂博物館

企画展「プロ野球 東京のロストボールパーク」開催中!

昭和の時代、東京都内でプロ野球の舞台となった野球場は12あり、そのうち7球場が現存していません。現在当博物館で開催中の企画展「プロ野球 東京のロストボールパーク」では、1952年のフランチャイズ制開始以降、本拠地として使用された後楽園スタジアム、駒澤野球場、東京スタジアムをはじめ、東京都内の今は無き野球場“ロストボールパーク”をご紹介します。

本展開催にあたり、後楽園スタジアムで1959年6月25日に開催された巨人対阪神の「天覧試合」において、長嶋茂雄選手（1988年殿堂入り）がサヨナラ本塁打を含む2本のホームランを放った貴重なバットを、同氏よりご出品いただきました。

「天覧試合」は阪神が先制、逆転に次ぐ逆転のシーソーゲームとなり、4-4の9回裏、長嶋選手の劇的なサヨナラ本塁打で巨人が5-4で勝利しました。王 貞治選手（1994年殿堂入り）も7回に同点本塁打を放つ

ており、これが通算106回を記録したONアベック本塁打の記念すべき最初の1回となりました。この長嶋選手の「天覧試合ホームランバット」は、実に26年ぶりの一般公開となります。

また、「天覧試合」を含む、ロストボールパークで開催された5試合の名勝負の公式スコア（写真を含む）を、日本野球機構のご協力により公開しており、特に「天覧試合」の公式スコア（原本）は初公開となります。この他、東京スタジアムの部分模型や、駒澤野球場時代の東映フライヤーズのユニホーム（米川泰夫投手着用）等、貴重な資料を展示しています。

本展は11月19日までの開催です。昭和の「熱い」時代のプロ野球と野球場の、記録と記憶にふれ、想いを馳せていただければ幸いです。皆様のご来館をお待ちしています。

公益財団法人 野球殿堂博物館
学芸員 関口貴広

公益財団法人 野球殿堂博物館 企画展

プロ野球 東京の ロストボールパーク

"Lost Ballparks in Tokyo"

会 期 2017年9月8日(金)～11月19日(日)
会 場 野球殿堂博物館 (東京ドーム21ゲート右)

開館時間 9/8～10/11 10:00～18:00 10/3～11/19 10:00～17:00
入 館 料 大人 600円、高・大学生 400円、小・中学生 200円、65歳以上 400円
休 館 日 月曜日(祝日・東京ドーム野球開催日は開館)



長嶋茂雄氏 大谷ホームランバット
26年ぶりの一般公開 !!

